

11月14日（日）

秋季企画展「神を守る狛犬たち」が今日で終わりました。アンケートをまだ全部見ていませんが、おおむね好評だったのではないかと思います。「本殿の中に狛犬がいることを初めて知った」とか、「狛犬をじっくり見たことがないので、こんなに違うことがあるんだ」とか、「全く同じものが一つもないことに驚いた」とか、アンケート以外で、このような声を聞かせてもらいました。そして、「自分の地域の神社の狛犬はどんなのだったのだろう、今度しっかりと見てみます」という声が多かったですね。

来年は、今年出展いただけなかった神社の狛犬も展示できればと思っていますが、難しい部分もあるのは事実です。しかし、御神体は無理でも、それ以外は「地域の文化財」として公開してもいいのでは？

寺院は本尊を公開して拝観料を取っていますよね。神社も経営方法を考えなければならない時代になってきているように思います。